

つながる・ひろがる！

100年コミュニティ



子どもから高齢者まで、さまざまな価値観を持つ人たちが、世代や立場を超え、お互いの生活を尊重しながら、ともに支え合う仕組みのある「まち」づくり。それが社団法人コミュニティネットワーク協会の提唱する「100年コミュニティ」です。

大震災から2年。3月11日を福島で迎えました。高濃度の放射能が降り注いだ飯館村は住む人のいない家が立ち並び、原発から10数キロの沿岸部は津波で壊された家が手つかずのまま。「復興」とはほど遠い、時が止まった光景でした。そして「放射能汚染」と向き合っています。「孫たちと川や花畑で遊ぶのが楽しみだったのに、全部奪われた」「若い人は去り、年寄りばかり。そんな町で老後を暮らすのは不安」……。そんな話をたくさん聞かせていただきました。同じ土地に立ち、同じ空気を吸い、同じ風を共に感じ、結ばれることで初めて見えるものがあります。私は何ができるのか、考えています。
(理事長・近山恵子)



特集1 東日本大震災から2年
被災地・大船渡で考えたコミュニティの再生 — p.2

特集2 終のすみかの選び方 — p.6 【連載】 老い光り⑨ 小沢牧子 — p.5

From ゆいま〜る — p.8 From 高齢者住宅情報センター / 銀座通信・茶屋町通信 — p.10

情報&セミナーのお知らせ — p.14



被災地・大船渡で考えた コミュニティの再生

大船渡屋台村は2011年12月開業。大船渡飲食店組合(加盟60店)が主導して設立した有限責任事業組合が運営する。被災した飲食店主など20店が軒を並べる。

取材・文・写真 Kyoko.A

東日本に未曾有の被害をもたらした大震災から2年。
被災地で暮らす高齢者によるコミュニティが育まれつつある。
岩手県大船渡市。そこには、豊かに見えても心の交流が稀薄で、
コミュニティが崩壊しかかっている今の社会を再生する手がかりがあった。

87歳の「看板娘」

凍結した山道を、車は時速20キロでゆっくり進んでゆく。東北新幹線の北上駅から約3時間、岩手県沿岸部にある大船渡市に着いたときには時計の針は夜8時を回っていた。

市の中心部にある「大船渡屋

台村」の前で車を止める。暗い闇のなかに存在感を示すかのような赤い看板がひととき目をひく。ここは大津波ですべてが流された「浸水地区」。周りは更地がひろがっており、数十メートル先は海だ。津波の直撃を受けながらも倒壊を免れたホテルやスーパードなどが点在しているが、民家は一軒もない。遠くの高台に見える家の灯りを指さしながら「あそこから上は残ったんです」と同行したコミュニティネット

ト代表取締役社長の高橋英興さん

ん(65)が言う。

高橋さんの母親こうさん(87)さんと妹の恵美さん(52)が経営する店「おふくろの味 えんがわ」は、20店舗が入る屋台村の一角にある。店の中に入ると、「お待ちしていました」とかすりの上着を羽織ったこうさんが迎えてくれた。

ひつまみ汁、肉じゃが、おでんは薄味で美味、まさにおふくろの味。「おいしいですね」と言うと、「最初はね、(私のつくる)料理でお金もらっていたいんだべかと不安だったけれど、いまはそう言ってもらえるのが生きがいだね」とこうさん。

こうさんが住む家は津波で流された。震災後、8ヶ月ほど高橋さんが住む東京のマンションで避難生活をしてきたが、2011年の秋に大船渡に戻り、仮設住宅に暮らしながら恵美さんと



「おふくろの味 えんがわ」にて。
高橋英興さん(2013年2月)

九死に一生を得て

2人で店を始めた。「せっかく生かされたんだから、人のためにできることをしよう」と決め、物資の支援や生活保護を受けて暮らすのではなく、住みなれた町で仕事をしながら自立して生きる道を選んだという。80代後半の高齢者が「看板娘」としてカウンターに立つ姿は「復興のシンボル」として注目を集め、テレビや新聞で何度も取り上げられてきた。

「この年になっても、こんな風に仕事をしているのを見ると『元気づけられる。ここに来ると落ち着く』と言うお客さん、多いんです。ひつま汁を食べながら『これ、おふくろが小さいときに作ってくれた。なつかしい』って。そんな会話をするのが楽しみですね」



米寿を迎える高橋こうさん

翌朝、高橋さんとこうさんに町を案内してもらった。海沿いの道は1メートル近く地盤沈下しており、車は海面すれすれを走る。大船渡魚市場は新たに建設中だったが、水産加工場が集まっていたあたりは更地のまま。

こうさんの家は、大船渡湾をはさみ屋台村の対岸、赤崎町にあった。枯れ草が生い茂る、自宅跡で車を止め、外に出ると強い風が吹いていた。

「ここに家があつてね。庭でいろんな野菜を作っていたんです」
こうさんに3月11日のことを聞いた。
「揺れがきて、すぐ外に出て、ここに、あがろうと思ったの」

と裏山を指差す。地上から4、5メートルのあたりに墓が並んでいる。

「墓までの」なだらかな道があるのだけれど、向こうに津波が見えて、間に合わないと思い、やぶからでね（やぶをかき分けて）。ここに（上まで）あがつて、こつちさ（下を）みたら、（水が）ガアツときたのね。もうダメだと思つた。このお墓の20センチ下あたりまで水がきたからね。大きな家さ、流れてくる。頭真っ白になつてね。こわかつたあ、寒かつたあ、ほんとうに悪魔、悪魔の世界だつたあ」

赤崎地区は海拔約3メートル。津波の高さは11・8メートルに達し、200軒ほどあつた集落はすべて流された。こうさんはまさに九死に一生を得た。

「家も財産も瞬時に失い、先の見えない不安を抱えて生きる……。その喪失感や苦痛は計り知れないものです。人間は、生きていく上で、自分ではどうにもならない事態に直面することがあります。自然の脅威の前で無力であることを思い知らされます」

故郷である大船渡を半年ぶりに訪れた高橋さんは言う。こうも続ける。
「ただ、そうした経験が人間を



「ここに私の家がありました」（大船渡市赤崎町にて）

変えることもあります。母は仮設の屋台村で、それまでしたことのないお客さん商売を80歳半ばで始め、それによって以前より元気になりました。母に限らず、大震災と津波という修羅場を経験した人は、豊かに見えるけれど心の交流が稀薄で、コミュニティが崩壊しかかっている今の社会を再生する手がかりを教えてください」

高橋さんは長年にわたり、高齢者向け住宅の開発と入居相談・運営などを手がけてきた。しかし、高齢者向けに事業を展開しているのではなく、高齢者向け住宅をひとつの「入り口」としながら、医療や介護のサービス、フライングのある暮らしや、多世代が交流するコミュニティづく

りを通し、社会が直面する問題の解決を目指してきたという。

大震災が教えてくれたことは「今の生活のあり方を変えない」と、日本は立ちいかなくなる」ということ。

「私たちのなかにある高度経済成長時代のイメージを捨て、自給自足的な生活にシフトする、環境を大切に、年を重ねても社会参加ができるようにする、そして何よりもお互いに支えあうことが求められています」

被災した岩手、宮城、福島の沿岸部は高齢化、過疎化、若者の流出など様々な課題を抱えているが、高橋さんの眼にはそれは近い将来の日本の姿に重なるという。ゆえに、母が「看板娘」となり、被災した人たちが集う「居場所」を創り出していることを二過性の出来事にせず、普遍化することでコミュニティ再生につなげたいと考えている。

多世代交流の場「居場所ハウス」

2月末、大船渡市末崎町の住民有志らでつくる「居場所」創造プロジェクトがNPO法人の認証を受けた。アメリカの大手企業の支援で町内に建設している拠点に、高齢者を主体に多世代

が交流できる「居場所ハウス」を作る予定という。

この活動にかかわってきた地元
の社会福祉法人「典人会」法
人事務局の所長を務める熊谷君
子さんは、主任介護支援専門員
や認知症ケア上級専門士の資格
を持ち、デイサービスはじめ地
域における老人福祉事業を担っ
てきた。自身の家も津波で流さ
れ、仮設住宅で暮らしている熊
谷さん。「居場所ハウス」は「お
ふくろの味 えんがわ」のこう
さんがモデルになっていると話す。
「高齢者がひつつみ汁を作っ
てみんなを出したり、お茶や珈琲を
飲みながらおしゃべりを楽しん
だり、そこに子どもたちも来て
高齢者から伝統料理の作り方や
昔の遊びを教えてもらったり
……。そういうことを地域の人
が軸となってやりながら、ばらば
らになつたみんなが集う場所に
したいんです」



熊谷君子さん



2011年3月11日午後2時46分。三陸沖を震源とするマグニチュード9・0の巨大地震は、想像を超える大津波となって岩手、宮城、福島はじめ東日本沿岸に大きな爪痕を残した。ここ大船渡市には地震発生からわずか30分で津波が到達。死亡者340人、いまだ80人の行方がわからない。写真は、市の中心部にあるホテル3階からみた大船渡湾。



大船渡魚市場から大船渡湾をのぞむ

仮設住宅での暮らしや生活環
境の変化により、認知症、うつ、
アルコール依存症や身体が衰え
る生活不活発病になる人が増え
ているといわれる。

「仮設での暮らしは運動不足に
なりがちで、話し相手のいない
人も多い。このままではうつや
認知症などが増える一方です。
ところが、今は集える場所がな
いため、ケアマネジャーに頼み、
介護保険を使ってデイサービス
を利用してもらうしかないのが
現状です。介護保険に頼らず
多世代が共に集える居場所を
作りたい。その第一歩が居場所ハ
ウスなんです」

こうさんをモデルにした居場
所ハウスは6月にオープンする。

被災地も、日本全体も今後、

さらに高齢化が進む。年金制
度も介護保険制度もいづれ支え
にならない日がくるだろう。な
らば、何をなすべきか。すべて
のモノを奪われ、残ったものが少
なくとも生きていけるというこ
と、ほんとうに大切なものはモ
ノではなく心の豊かさにあるこ
とを被災地の人びとは教えてく
れる。高橋さんは言う。

「ひとりではつんといるのではな
く、生きがいを持って人とわか
わりながら暮らし、病気や介護
が必要になったときには支えあ
う。問題が起きたときは一緒に
考える。そんなゆるやかなコミュ
ニティが必要です。ほくはその
ための拠点づくりをしたい。ど
んなコミュニティにするかは、そ
の地域の人たちが中心となって
生み出す。そんな風に考えてい
ます」

誰かのせいにするばたやすいこ
とを、自分の問題として考え続
ける。未来はその延長線上に拓
かれる。



長女の恵美さんと共に店のカ
ウンターに立つ

“むごい尺度”から離れませんか

あたたかい日差しを背に、年寄りムード全開でのんびり新聞をひらくと、「老い」についてのエッセイが目にとまった。老いの諸相が述べられたあとに、「老いを喪失期ととらえて元気が過ごすか、挑戦期ととらえて元気に過ごすか、それは心構え次第」という具合に結ばれている。うーん、そうかなあ。老いることで新しく見えてくるものがいろいろあるから「喪失」ともいえないし、やっと「挑戦」ばかりしないですむようになったのは有難いことだがな、と思う。へそ曲がり老人かもしれない。老いのとらえかたは人さまさまなのだから、さきのエッセイにケチをつけるつもりはないが、せっかく老いたのにもつたいなくはないか？ とその頑張りが切ない気もする。

長く生きれば、若さはたしかに喪失する。それを嘆き、老いに負けずに頑張ろうという気概にあふれた老人もけっこう多い。だがその気概はときに、生産力至上主義で人を追い立てる世の中の尺度をなぞっている。子ども若者壮年と人を追い立て、ときに苦しめてきたこのむごい尺度から離れなくては、ようやく歳をとった甲斐がないのでは。それに、歳を重ねて失うものあれば代わりに新しく得る世界があつて、何でも五分五分だと思いがどうだろう。昔の人の考えを諺から推し測つても、かたや「老いては子に従え」とその衰えを言い、かたや「老いたる馬は路を忘れず」とその知恵を言う。幼な子は理屈こそ知らないが本質をとらえる直観に恵まれ、おとなは知識情報を山ほど得て身体の知を失う。働き盛りには勢いこそあがるがヒマがなく、隠居をすれば変化こそ少ないが落ち着いた時間が流れる。空を眺めるゆとりと自然の姿が身近にもどつ

せっかく歳をとったんだから

小沢牧子

てくると、穏やかな気分が訪れる。それもまた恩恵のときだ。得るもの失うものの采配は、けつこう公平にできている。

いちばん古くていちばん新しい毎日

若いときはつくづく忙しかったなあと思う。それだけ動き回れたのだから、当たり前だ。かつて仕事と家事と通勤に追われまくっていた友人が、「あのころ夕焼けってちゃんと見たことなかったな、電車の中でもひたすら眠かったし。落ち着いてきて空を見るゆとりができたなら、夕焼けってこんなにきれいだったんだとびっくりする」と言っていたが、よくわかる。空の美しさは、まったくすごい。こればかりは誰にも平等なのだ。どんなときも。若かったころには、お年寄りが窓際なり縁側にひとり座って空をゆっくり眺めている姿を淋しそうだなと一方的に見ていたものだが、あれは若さゆえの独りよがりなカン違いだったのだといまごろ気づく。そんなさまざまなかん違いやきめつけが、きっと他にも山ほどあったのだろうなというこも。

家にいる時間が長くなると、おかしな電話にも出会う。「牧子おばあちゃんですか？ ぼくですよ」とかかってきた。さてはあれだな？ と思うや、案の定息子だという。適当に対応するうちに警戒したのか電話を切ろうとするので、「もつと話しましょうよ」とからかうと、「もういいよ」と言う。「いいよじゃありません、息子でしよつー」とおどかさずと驚いてガチャツと切れた。どうやらオレオレ初心者だったなとおかしくて、友人に顛末を話して笑いあう。そんなふうには、生まれてからいちばん古くていちばん新しい毎日が過ぎていく。

小沢牧子（おざわ・まきこ）1937年北海道生まれ。心理学出身だが、心理学のもつ「心の管理」にかかわる問題を批判的に検討してきた。著書に『心の専門家』はいらぬ』『心を商品化する社会』（以上洋泉社新書）、『「心の時代」と教育』（青土社）、『子どもの場所から』『学校って何』（以上小澤昔話研究所）ほか。

終のすみかの選び方

高齢者住宅情報センター・東京では、「高齢者住宅の種類と費用」「終のすみかの選び方」「いまさら聞けない介護保険」の3つの基礎セミナーを、くり返し行っています。参加者からは、「わかりやすい」「勉強になった」と好評！ 今号では、その一つ「終のすみかの選び方」についてご紹介いたします。講師 古江郁子（高齢者住宅情報センター・東京／副室長）

高齢者住宅情報センターが 発足して18年、最近の相談の特徴は、「自分らしく最期まで暮らしたい」という声が多くなったこと。さらに、「親の介護が大変だったので、子どもには心配させたくない」「1人で仕事をして築いてきた人生だから、最期まで自分で」という声も増えてきました。自分のことは自分で元気がうちに決めて安心したい、という傾向が強まっていると感じています。

そこで、終のすみかの1つとして、高齢者住宅についてお話していきたいと思えます。はじめに、どんなきっかけで高齢者住宅への住み替えを考えたのか、当センターにご相談にいらした方の例を挙げて

みましよう。

●家族状況：子どもがいない夫婦、ひとり暮らしの場合、高齢化による日々の暮らしに不安が生じたなど。子どもがいても遠方、迷惑をかけたくない、お嫁さんに気を使いたくないなど。

●身体的状況：持病がある大病をした、介護が必要になったなど。

●地域環境：自宅の老朽化、庭の手入れが大変など。駅から遠い、買い物に不便、周囲に空き家が増え話し相手が少なくなったなど。

●嗜好の変化：田舎暮らしがしたい、都心に住みたいなど。

厚生労働省の「平成23年度版厚生労働白書」によると、3世代同居世帯は年々減り、

【図1】高齢者住宅のいろいろ

自立の方向け	住宅	有料老人ホーム ①介護付（一般型、外部サービス利用型） ②住宅型 ③健康型 サービス付き高齢者向け住宅 シニア向け分譲マンション シルバーハウジング
	福祉施設	軽費老人ホーム ケアハウス A型、B型（自炊）
要介護の方向け	住宅	有料老人ホーム（介護付、住宅型） サービス付き高齢者向け住宅 認知症高齢者グループホーム（要支援2～）
	福祉施設	ケアハウス（介護付） 特別養護老人ホーム（要介護1～）
	医療施設	介護型療養病床（要介護1～） 介護老人保健施設（要介護1～）

①資産の棚卸と資金計画

預貯金、投資信託、株、不動産

②心と身の回りの整理

Ending NOTE、自分ですぐに！

近年、単身世帯、高齢者単身世帯がぐっと増えています。推計では、今後ますます高齢者単身世帯が増えるとされています。

同じく厚労省の「平成23年度介護給付費実態調査の概況」によると、70代後半からいから介護保険受給者の割合が増えてきます。90代になると、なんらかの介護サービスを受けている方が女性8割、男性7割近くにも上ります。

安否確認・見守り、緊急対応生活相談、食事、洗濯・掃除などの基本的な「安心のサービス（組み合わせや有無はそれぞれ）がついている住まい」ということです。また、医療・看護・介護の連携があったり、交流の場があったり、豪華なところだとプールやジムがあったりと、それぞれの特徴があります。

高齢者で1人暮らし、体が弱ってから高齢者住宅への住み替えを考えるのは、正直とても大変です。しかも、介護サービスを受けるようになってからだと、介護型の高齢者住宅を探さなくてはなりません。自分らしい暮らしが望めない場合も多くなります。

高年齢者住宅について図1にまとめました。このところよく見聞きするのがサービス付き住宅「サ高住」とも略されていますね。有料老人ホームより、登録基準がゆるく、前払い家賃が5万円もするものもあれば、毎月12万円でも食事付きといったところもあり、様々です（バリアフリー構造、安否確認や生活相談サービス以外の、介護・医療・生活支援サービスの提供・連携方法については様々なタイプがある）。

終のすみかについては、まだ元気な70代前半くらいで考えてみてください。自分らしいすまいを、自分で探し、選ぶことができます。

国も、高齢者世帯が増えていくことから、「サ高住」の建設を後押ししています。2013年度の補助金は340億円。今後、ますます建設が進むでしょう。

高齢者住宅ってなに？

高齢者住宅＝「住宅」＋「サービス」です。つまり、

「サ高住」です。つまり、

費用はどれくらいかかるの？

高齢者住宅の費用＝「住まいの費用」＋「サービスの費用」です。住まいの費用とは、家賃・共益費で、自分専用の居室＋共有部分の費用です。プールやテニスコート、食堂や風呂があれば、その分高くなりますね。また、駅から近いなどの利便がよければ、土地の値段も高くなりますから、家賃は高くなります。

それに加えて、サービス付きなのが高齢者住宅ですので、サービスも有料です。生活支援サービスには、月々の固定費用による基本サービス費用（サービス内容によってまちまち。1万～5万くらいが多い）と選択による有料サービスがあります。介護が必要になれば、介護保険によるサービス費用（原則1割負担）と、介護保険以外の有料サービス費用が発生します。

支払方法については、ある程度家賃を前払いにして預けておく、一般的な賃貸住宅と同じ月々払い、両方の組み合わせなど、最近はいろいろな方法が出てきています。

高齢者住宅の選び方とは？

①資産の棚卸と資金計画を！

まず、自分の資産の棚卸をしましょう。ノートを1冊用意して、預貯金、投資信託、株、不動産、そして生命保険など、自分の資産の一覧表を作ってみてください。

つぎに、1ヶ月にどれくらい収入があるのか。個人で年金保険をかけている場合、何歳からどれくらい入るのか、ていねいに全部書き出してみてください。それによって、使えるお金がどれくらいかを確かめることが重要です。

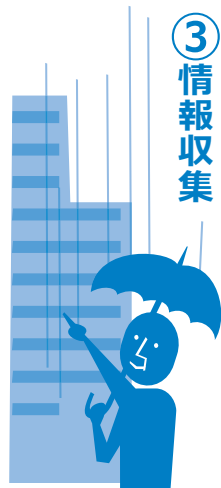
②心と身の回りの整理が大事

これから誰と、どう暮らししていきたいか、そのためには何が必要か。ペットと暮らしたい、ボランティアを続けたい、いきなり……など、自分の条件や夢を書き出してみてください。

高齢者住宅は1つ1つ違います。相談に来る方から、「有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅はどう違うのですか」と聞かれることが多くなりましたが、制度上の違

【図2】ここがポイント！高齢者住宅の選び方

- ① 二丁ズ書き出し…いま必要、近い将来必要、あったらいいもの、時期、場所、部屋、誰と、など
- ② これからの暮らし方、やりたいこと
- ③ “看取り”についての希望
- ④ 認知症になった時に誰に任せるか
- ⑤ 家・物の処分
- ⑥ “争族”を避ける



③情報収集

- ① 基礎知識：種類、費用、介護保険、権利
- ② 候補先の情報：見学、体験入居（建物だけでなく、入居者やスタッフの表情、雰囲気も）
- ③ 重要事項説明書、管理規定、契約書、財務諸表（閲覧のみのところもあり）、介護サービス一覧表、有料サービス一覧表などの資料を入手。疑問点はとことん聞きましょう。
- ④ 情報源：行政窓口、地域包括支援センター、病院のソーシャルワーカー、介護サービス事業者情報、インターネット、新聞広告、雑誌・書籍、民間の紹介所や公益団体など。

情報センターから

セミナーで知り合い、お友達になって情報交換したり、センターの職員とのおしゃべりを楽しみに参加して下さる方もいらっしゃいます。法改正でとこところ変わるの、リピーターも多いのです。私たちスタッフも、セミナーだけで終わりではなく、世間話やなにげないやりとりのなかで信頼関係を築くことが一番だと考えています。事業者主催のセミナーではないので、あくまで中立的な立場でお話しています。来て下さる方に寄り添い、いっしょに考えていくという姿勢は、これからは変わりません。

いはあれど、明確には区別できないとお答えしています。とくに、サービス付き高齢者向け住宅は千差万別。候補の住宅があつたら、自分に合うかよく調べてみてください。自分をよく知り、自分に合ったところでない、「また引っ越し…」なんてことになりかねません。

看取りについての希望、認知症になった時に自分に代わって誰に判断を任せるのかも、考えておく必要があります。最近、見聞きするようになって「エンディングノート」にまとめておくのもいいでしょう。

家や物の処分についても、元気なうちに。物の処分は、住み替えの予定がなくても、すぐにできること。相続が“争続”にならないように、自分の判断でできるうちに済ませておきたいですね。

③情報収集のコツ

気になった高齢者住宅があつたら、必ず見学をすること。朝昼晩といういろいろな時間に、雨の日・晴れの日に行ってみる、宿泊体験してみるなどして、暮らししている方とお話し

したり、食事をいただいたりしてみてください。入居者やスタッフの様子、雰囲気を感じ取れるはずですよ。建物や設備の豪華さに目を奪われることもあるかもしれませんが、肝心なのは事業者の姿勢とスタッフの様子です。自分にとっての終のすみかにふさわしいか、見極めましょう。

入手していただきたい資料は、図2を参考に。事前に目を通し、わからないところは質問しましょう。きちんと答えられない、書類を出しながらいいところはやめたほうがいいと思います。

また、情報源は、広告だともよいことしか書かれていませんので、それ以外もぜひ参考にしてみてください。終のすみかについては、早めに考えるのが一番です。「まだ大丈夫は、いまがそのとき」「思い立った時が適齢期」。自分に合ったすまいを見つけるために、早めにスタートしていただきたいと思っています。

高齢者情報センター・大阪でも、随時セミナーを開催しています。P145をご覧ください。



太鼓と獅子舞でハウスの門出を祝ってくれた武州唐獅子太鼓の皆さん

ゆいま〜るの仲間、 続々誕生！

3月2日に「ゆいま〜る拜島」がオープンしました。同月24日には「ゆいま〜る中沢」がオープン。4月下旬になると北海道にも「ゆいま〜る厚沢部」が誕生の予定です(4月24日にオープンパーティー開催)。
今月号では「ゆいま〜る拜島」のオープンパーティーの様子と、オープン直前の「ゆいま〜る中沢」の特徴をご紹介します。今後、ゆいま〜るの多彩な顔ぶれで、高齢者の安心と生活の場としての地域「コミュニティづくり」に向けて、さまざまな情報発信と提案をしていきます。

ゆいま〜る拜島 制度の壁に挑戦した ユニークな メニュー開発

正式オープンは3月2日でしたが、先立つ2月22日に晴れ渡る空の下、オープンパーティーが開催されました。入居者をはじめ地域の方や関係者を含め120名を超える人々が参加された式典は食堂に入りきれず、テラスにあふれる盛況ぶり。その熱気からも、待ちに待ったオープンだったことが伝わってきます。
思わず寒さを忘れる時間でした。行政を代表して、福生市の村山利夫副市長からお祝いの言

葉をいただきました。都内で4カ所目となる外部サービス利用型特定施設のサービス付き高齢者向け住宅として、「ゆいま〜る拜島」に寄せる期待のほどがうかがえます。

乾杯のあとは、食堂の運営事業者である「ケアサービスひかり」による食事のお披露目です。舌鼓を打ちながらの歓談が弾む中、地元・武州唐獅子太鼓の演奏と獅子舞がスタート。勇壮にして華やかな太鼓の音が館内に響きわたる、「ゆいま〜る拜島」の門出を祝いました。



福生市・村山利夫副市長(左)と株式会社コミュニティネット・高橋英興社長(右)

11名のマスコミ関係者が参加して別室で行われた記者発表会では、ハウスの運営にあたる株式会社コミュニティネットの高橋英興社長、当社団の近山恵子理事長、鈴木恵子ハウス長から「ゆいま〜る拜島」開設の意義や目的、役割、想いなどが語られ、記者の方からは「ゆいま〜る拜島」の特徴のひとつ「外部

サービス利用型特定施設」について、多くの質問がありました。「ゆいま〜る拜島」は土地を提

供した地元の地主さんほか設計、初回の試みです。地元で暮らし、長く介護現場に携わってきた鈴木ハウス

スタッフがケアプランを 策定するメリット

鈴木恵子ハウス長

日頃から居住者の様子を知っているスタッフがケアプランを作成できれば介護が必要になっても必要なサポートの判断がスムーズで、これまでの暮らしを続けることが十分に可能です。高齢期の住まいとして、これはとても優位性のある仕組みではないでしょうか。介護サービスは、ハウスが提携した介護事業者から受けます。

要支援・要介護認定を受けている方には、有料サービスですが、ケアプラン外の身体・生活介助にも臨機応変に対応します。隙間をフォローすることで、生活の質を落とさず「自分らしく暮らす」ことができると思います。

お仲間とともに余生を 楽しく送れたら

入居者代表・林トシ子さん(85歳)

ずっと、ひとり暮らしをしていましたが、東日本大震災を機に私自身も不安を感じましたし、家族も心配してくれました。そんな折、こちらのことを耳にしました。スタッフの方に支えられながら、お仲間とともに残り少ない余生を楽しく送れたらいいなと思います。

地域の人たちとつながる暮らしを目指すそうです。

地域の方々からも「食堂はいつから使えるの?」「デイサービスやクリニックができて嬉しい」といった問い合わせや感想が、早くも聞かれました。

ゆいま〜る中沢 「元気なとき」から 「看取り」まで 在宅支援も充実 高齢者福祉関連施設

最初に、「ゆいま〜る中沢」のある多摩市がどんな地域で、どんな事情があるのかを見てみます。東京西部に位置する多摩市は人口14万5665人、新宿まで40分弱という利便性に恵まれ、高度経済成長時代に首都圏有数のベッドタウンとして発展してきました。

75歳以上の人口は現在8・8%ですが、2020年にはその約2倍、16・3%まで上昇すると推計されます。全世帯の4分の1近くを65歳以上のみの世帯が占め、その半数近くが75歳以上のみの世帯で、そのうちの7割近くが1人暮らしです。

また、高齢者の住居形態の比率は、一戸建てに比べて集合住宅が2倍以上で、しかもエレベーターがない中低層の集合住宅、すなわち団地に住んでいらっしゃる方が多いのが特徴です。



ゆいま〜る中沢の外観(模型)

こうした数字から、地域のニーズや課題として、次の3点が急務であると位置づけました。①高齢者を支援するサービス付きの「住宅」の整備、②地域に密着した医療・介護の連携と包括ケアサービスによる安心の創造、③いつでも在宅で暮らすための仕組みづくりと団地再生……。これらを踏まえた上で、「ゆいま〜る中沢」の特徴をあらためて説明したいと思います。

【特徴1】元気なときから、介護が必要になっても最期まで自分らしく

「ゆいま〜る中沢」は、元気なときは自分らしく自由に暮らし、認知症になっても、途切れることのない医療・看護・介護のコーディネートを行えるハウスを指しています。医療は多摩二ユータウンにおける高齢者医療・介護のバイオニアである医療法人財団・天翁会と連携し、建物1階に入る「クリニック」と「訪問看護」も同会が運営する予定です。

外に目を向ければ、「新天本病院」(医療法人財団・天翁会)は目と鼻の先ですし、「あい介護老人保健施設」が道を隔てた向かい側にあります。さらに、救急医療とがん医療に重点を置く地域の中核病院、「多摩南部地域病院」も徒歩圏内です。また、併設される「ゆいま〜る食堂」は入居者だけでなく、地域に開かれた食堂として多くの方に利用していただけます。これら医療・看護と介護から食にいたる支援やサービスは「地域の資源」として、地域に還元されるのが特徴です。一人ひとりが、最期まで自分

しく生きるための暮らしを実現するために、「ゆいま〜る中沢」は多摩市初のサービス付き高齢者向け住宅として、地域と密着しながら地域のニーズに応えていきます。

【特徴2】在宅を支える介護保険外ショートステイを併設

思わぬケガや病気で以前の暮らしが送れるようになるまでサポートが必要なとき、手術を受けて退院後、見守りのもと療養やリハビリを受けたいとき、要介護認定を受けていなくてもケアサービス付きで泊まれる場所が必要なとき、病院以外の場所で最期を迎えたいときなど、ご利用いただけます。

加えて、療養型病床の削減・廃止の影響で生まれている「医療・介護難民」問題の解決にも寄与したいと考えています。看護師と介護スタッフが24時間、365日常駐し、さまざまなニーズを受け止め、希望へとつなぐ居場所を目指します。

【特徴3】団地再生モデルを目指します

高齢者医療と介護の連携モデルケースとして、多摩市にある2つのゆいま〜る(聖ヶ丘)が有機的に機能することで、多摩二ユータウンという巨大団地を

控える地域事情や課題を解決する道すじを探りながら、団地再生を目指します。

★医療・介護が充実し、在宅も支える複数の機能をもった「ゆいま〜る中沢」を拠点として、地域のニーズをトータルにサポート。

★同じ多摩市にある住宅型有料老人ホーム「ゆいま〜る聖ヶ丘」をサテライト*に位置づけ、同じ多摩市内で面で支えるしくみです。

★ゆいま〜るの居住者にとどまらず、それぞれのサービスを地域住民に利用してもらおうとともに、団地再生も視野に入れた展開を。



介護アドバイザーで看護師の田中とも江さんとゆいま〜る中沢のスタッフの皆さん

*「ゆいま〜る聖ヶ丘」でも天翁会との連携に加え、建物の一角で同会が運営する小規模多機能施設やグループホームは、地域住民も利用されています。

相談・資料請求
すべて無料
0120-352-350

有料老人ホーム、
サービス付き高齢者向け住宅(サ付き住宅)など
高齢者住宅への入居相談、介護相談など、
経験豊かな相談員が無料で相談を
お受けしています。



from 高齢者住宅 情報センター

「自宅を売り、そのお金で高齢者住宅に入居したい」という相談を受けることがあります。高齢者住宅情報センターでは、当センターが信任する不動産会社に自宅の査定を依頼しています。最近の傾向として、売却相場より高めに売り出した後、相場に合わせた値下げを決断できなくて、入居を諦めるケースが少なくありません。決断の遅れが「人生の転機」を逃すことになるのは残念なことです。ご自身にとって何が一番大切かということを意識して、自宅の売買に臨んでいただきたいと思います。今の暮らしに満足している方にとって、高齢者住宅に住みかえることをなるだけ遅くしたいという思いもわからなくはないのですが、高齢者住宅の居住性の良さと将来の備えの為に、住みかえの時期を経済状況も含めて検討していただきたいと思います。



ここがイチ押し! ②



入居者も、スタッフや家族ボランティアと一緒に参加するうち、今では積極的に作品作りに励んでいる。専任のスタッフ2名でフラワールアレンジメントや書道、健康体操、カラオケ、囲碁などクラブメニューを増やしてきた。「別のフロアの入居者との交流や、今まで仲が悪かった人同士も会話するようになりましたよ」と堀内ホーム長。何より楽しそうなのが印象的だ。

西から

介護付有料老人ホーム レリーサポプラ

米沢なな子
高齢者住宅情報センター・大阪センター長

入居者参加型のお楽しみベルデクラブ

「このビーズの色きれいな」「キラキラ光って素敵よ」。午後2時過ぎ、1階の一角で賑やかな声が飛び交っていた。ここ介護付有料老人ホーム「レリーサポプラ」では、昨年山口県のデイサービス施設(夢のみずうみ村)で実践されている自己選択型の生活を楽しむためのカルチャークラブを採用している。名づけて「ベルデクラブ」。

それまではどこの有料老人ホームでも見られる、フロアごとに介護スタッフが主導するアクティビティを行っていたが、デイサービスコーナーを設け、開催されるプログラムに参加してもらう方式に変えた。最近ではビーズ手芸が大人気。最初は「こんな細かな作業できないわ」とか「私は不器用だから」と尻込みしていた入居者も、スタッフや家族ボランティアと一緒に参加するうち、今では積極的に作品作りに励んでいる。

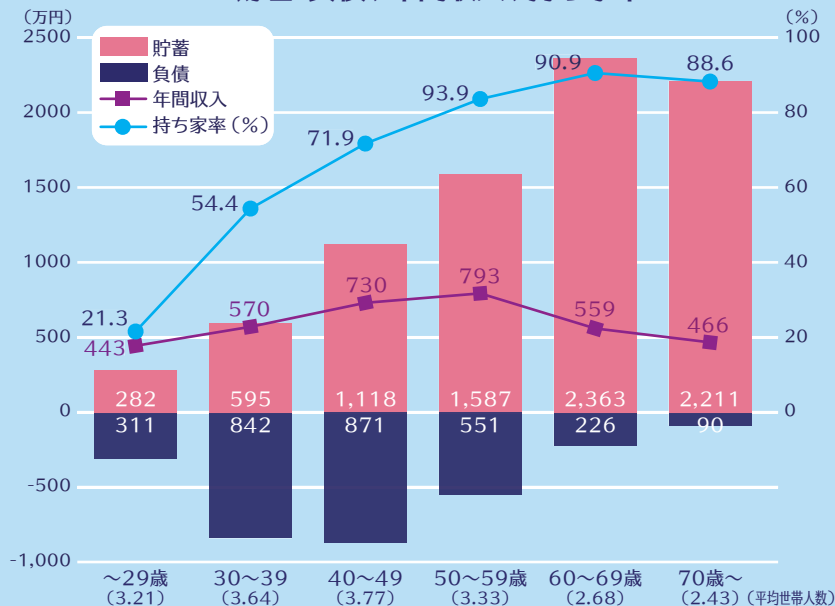
- 大阪府池田市東山町 546 番 ●事業主体：社会福祉法人 池田さつき会
- 開設：2009年6月1日 ●最寄駅：阪急宝塚線「池田」駅から阪急バス「東山」駅下車
- 利用権方式 ●入居時：要支援・要介護 ●介護職員体制：1.8対1以上 ●居室48室(ユニット型)
- 入居時費用：0～550万円(4プランあり) ●管理費：118,000円 ●食費：68,000円



データで見る高齢者②

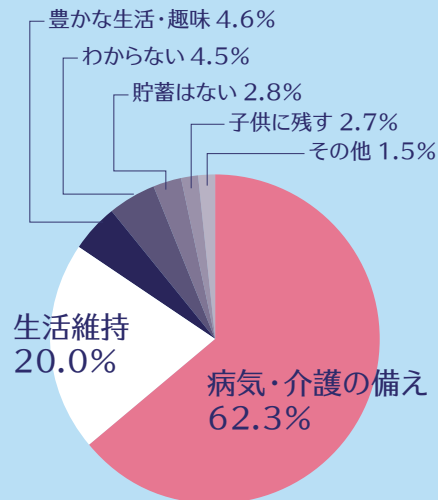
貯蓄額と貯蓄の目的

世帯主の年齢階級別1世帯当たりの貯蓄・負債、年間収入、持ち家率



資料：総務省「家計調査(二人以上世帯)」(平成23年)

貯蓄の目的



資料：内閣府「高齢者の経済生活に関する意識調査」(平成23年)
(注)対象は、全国60歳以上の男女

「オレオレ詐欺」事件のニュースを見聞きするたび、犯罪の卑劣さを憤ると同時に、被害に遭った高齢者がそ

ろって高額の前貯金を持っていることに、正直驚く。
それを裏付けるようなデータがあった。世帯主の年齢階級別1世帯当たりの貯蓄額を見ると、70歳以上でも2000万円以上ある。そして貯蓄の目的は、自分の楽しみのために使うのではなく、あるいは子どもに残すわけでもなく、「病気・介護の備え」が第1位(62.3%)で、「生活維持」が第2位(20.0%)と続く。



相談員レポート

東から



サービス付き高齢者向け住宅 グランクレール青葉台二丁目

古江郁子 高齢者住宅情報センター東京副室長

広めの間取りと24時間スタッフ常駐が魅力

最寄りの青葉台駅からカフェや金融機関、スーパーマーケット、クリニックなどが並ぶ道をゆつくり歩いて郵便局の先のミニスーパーの角を右に曲がるとすぐ、シックなたたずまいを見せている。内装工事が進む館内を東急不動産の加賀谷さんに案内していただいた。

27戸あるワンルームは40㎡台、32戸の1LDKは50㎡台、64〜70㎡の2LDKが20戸とバラエティに富み、広めの間取りが多いのが特徴だ。お一人からお二人入居まで幅広いニーズに対応しており、24時間スタッフ常駐、大浴場やレストランなど設備も充実している。住戸内は入り口から段差がまったくないバリアフリー、キッチンには車いすでの調理にも配慮したデザインなど、安心のポイントが数多い。

ゆるやかに続く周辺の落ち着いた街並みの先に富士山も加わる素晴らしい眺め、緑豊かな桜台公園など、環境の良さもこの住宅の大きな魅力となっている。隣接する空き地に「増築」の表示があったので聞いてみると、来春に看護師が常駐する介護棟ができるそうだ(予定)。

- 横浜市青葉区青葉台2-30-2 ●事業主体：東急不動産株式会社 ●開設：2013年9月予定
- 最寄駅：東急田園都市線「青葉台」駅徒歩8分 ●5階建て ●居室79戸、45.6㎡〜70.06㎡
- 家賃の支払い方式：【一括支払方式の場合】家賃等の前払金：2,800万円〜5,205万円(入居時80歳お一人入居の場合)
【月払方式の場合】月払い家賃(月額)：158,000〜325,000円、敷金：賃料3ヶ月分、終身建物賃貸借方式(予定)
- 月額費用(お一人入居の場合、管理費とサービス費)：144,500円



見学会のご案内

相談員が同行いたします。参加ご希望の方は、各見学会・開催日の5日前までに高齢者住宅情報センターまでお申し込み下さい。

●ランチ付き見学会

サービス付き高齢者向け住宅 **ひふみ苑天満橋**

入居時：要支援・要介護
大阪市北区に4月からオープンしたサービス付き高齢者向け住宅です。天満橋駅から徒歩4分という交通やお買い物にも便利な立地です。部屋の間取りは3タイプ。介護と医療の連携があり、食事の用意は住宅内の厨房で調理し、提供します。



4月18日(木)

午前11時に地下鉄谷町線「天満橋」駅1・2番出口方面、改札を出てすぐ左側にあるコインロッカーの前に集合
*ランチ代：580円

- 開設日：2013年4月 ●居室数：50室 ●居室の広さ：19.85㎡～21.55㎡ ●入居時費用(敷金)：50,000円
- 家賃：78,000円～91,000円 ●管理費：36,000円 ●食費：48,000円 ●土地・建物：賃借 ●事業主体：(株)ひふみ苑

●ランチ&セミナー付き見学会

介護付有料老人ホーム **グランフォレスト神戸六甲**

入居時：自立・要支援・要介護
住友林業グループが運営する有料老人ホームです。6階建て全59室で、スタッフと入居者の距離が近く、家族的な暖かい雰囲気が特徴です。昼食後、同グループの仲介会社の講師より、不動産売却のタイミングやポイントについてのセミナーが開催されます。



4月25日(木) 午前10時45分

午前11時にJR「六甲道」駅改札口集合
*ランチ代：500円

- 開設日：2010年4月 ●居室数：一般居室19室、介護居室40室
- 居室の広さ：一般居室26.6㎡～56.5㎡、介護居室20㎡
- 入居時費用：介護居室990万円(80～89歳の例)、一般居室1,460万円～3,310万円
- 土地・建物：賃借 ●事業主体：(株)フィルケア

TOP ICS



会員ホームのTOPICS

健康セミナー

「高齢者における肺炎とその予防」&ホーム見学会

介護付有料老人ホーム **やすらぎ(西宮市)**

4月19日(金) 午後2時から

講師：往診医 よこた芳友クリニック 横田芳郎先生(内科)

会場：介護付有料老人ホーム やすらぎ 4F食堂 参加費：無料 定員：40名

西宮協立脳神経外科病院と(株)かんでんジョイライフが連携したホームで、介護サービスは提携先の外部利用となり、選択肢が広く、個々のニーズに応える仕組みになっています。



- 土地・建物：賃借
- 事業主体：(株)メディス

食事付き内覧会

介護付有料老人ホーム

コンフォートヒルズ六甲(神戸市)

4月15日(月)・19日(金) 両日とも午前11時～午後2時

参加費：無料 定員：各先着10名

セコムが隣接する海星病院と医療連携を組み、入居者に安心の医療サービスが提供できるコンフォートヒルズ六甲。残室3室となり、ホーム内も落ち着いた生活感が出てきました。運営幹部とランチを摂りながら何でもご質問ください。



- 土地・建物：所有
- 事業主体：セコムフォートウエスト(株)





見学会のご案内

相談員が同行いたします。参加ご希望の方は、各見学会・開催日の5日前までに高齢者住宅情報センターまでお申し込み下さい。

●ランチ付き見学会

サービス付き高齢者向け住宅
入居時：自立・要支援・要介護

ゆいま〜る中沢

デパート等の商業施設がそろった小田急線・京王線「多摩センター」駅も徒歩圏内。事業主体 6 棟目となる同ハウスは、『高齢者福祉関連施設』として、サービス付き高齢者向け住宅・クリニック・グループホーム・小規模多機能居宅介護(予定)等が入ります。食堂は地域の方にも開放、イベントには地域の方もお誘いします。

4月19日(金)午前10時15分

京王線「多摩センター」駅中央口改札

※ランチ代：700円

- 開設日：2013年3月 ●居室数：56室 ●居室の広さ：39.40㎡～66.10㎡
- 土地・建物：自己所有(予定) ●事業主体：株式会社コミュニティネット
- 入居時費用：2,130万円～3,794万円(3月6日現在)



完成予想図

●ランチ付き見学会

介護付有料老人ホーム
入居時：自立・要支援・要介護

クラーチ溝の口

都心まで約30分の利便性に優れた立地であり、隣には大型スーパーもあるのでとても便利です。コミュニティを大切に考え、様々なサークル・教室活動が行われ、イベントも随時開催しています。また、看護師と協力医療機関のクリニックとの連携、24時間体制の介護サービスも安心の1つです。

4月23日(火)午前10時45分

JR南武線「武蔵溝ノ口」駅改札口(JR南武線の改札口は1か所)

参加費：無料

- 開設日：2003年4月 ●居室数：246室 ●居室の広さ：35.34㎡～73.97㎡
- 入居時費用：2,800万円～3,600万円(3月5日現在)
- 土地：賃借・建物：所有 ●事業主体：株式会社クラーチ溝の口



イベントの様子



モデルルーム

TOPICS



会員ホームのTOPICS

(株)生活科学運営の見学会のお知らせ

介護付有料老人ホーム

ライフ&シニアハウス井草

開催日：4月19日(金)・5月16日(木)
集合：午後2時 西武新宿線「井草」駅北口改札
定員：10名 参加費：無料

駅から徒歩3分、近隣には杉並区で一番広い区立井草森公園があり、格好の散歩コースです。自立の方から介護が必要な方までご入居が可能。開設から11年が経ち、看取りの経験も豊富なハウスです。

要予約



開設10周年の記念パーティの様子
●土地：定期借地・建物：所有
●事業主体：株式会社生活科学運営

ライフサポート(株)の見学会のお知らせ

サービス付き高齢者向け住宅

悠楽里まちだスカイビュー

開催日：4月17日(水)・24日(水)
集合：午後1時20分 小田急線「鶴川」駅北口改札
定員：30名 参加費：無料

閑静な住宅地の高台に立地する全室南向きの、日当たり・眺望のいい住宅です。1階居室は専用テラスと庭付きでペットもOK。2つの食堂や談話室、中庭で楽しく過ごせます。訪問介護事業所を併設するほか日中は看護師、夜間はヘルパー勤務で安心。鶴川駅からの送迎サービスが便利です。

要予約



●土地・建物：自己所有
●事業主体：ライフサポート株式会社

上記見学会及び、掲載内容詳細の **お申し込み・お問い合わせ**

情報 & セミナーのお知らせ

関東



基礎セミナー

高齢者住宅の種類と費用

日時 4月16日(火)
午後1時30分～午後3時
講師 古江郁子(高齢者住宅情報センター・副室長)
会場 高齢者住宅情報センター(有楽町)

※3月末より、高齢者住宅情報センターは移転しています。P16の地図にて場所をご確認の上ご来場ください。

定員30名/参加費5000円

▼「高齢者住宅」と一口に言っても、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など、その種類や特徴はさまざまです。住み替え先を検討するにも、基本的なことを知っておく必要があります。まずは、それぞれの違いから学んでみませんか？



古江郁子 相談室副室長

に、個別相談も承ります。

東銀座カフェ

「合葬墓」を一緒に考えましょう

候補地見学会

日時 4月25日(木)

集合時間 午前10時30分

集合場所 京王線「八王子」

駅 中央改札

参加費 無料(交通費は実費)

▼子どもがいない、田舎のお墓は遠い、などの理由から、「合葬墓」を検討される方が増えています。当社でも取り組みを開始しました。関東では昨年8月より、話し合いや候補地の見学を行い、1月開催の話し合いで八王子にある「上川霊園」を見学することになりました。これを機に「墓友」になりませんか？



東銀座カフェ

「ゆいまゝる倶楽部」説明会&ランチ付き見学会

日時 4月26日(金)

集合時間 午前10時15分

集合場所 京王線「多摩セン

ター」駅 中央口改札
昼食代700円/定員30名

▼「ゆいまゝる倶楽部」の介護居室がある、待望の「ゆいまゝる中沢」が先月オープンしました。「転ばぬ先の杖」として、元気なうちに介護居室が予約できるといふ新しいコンセプトで誕生した「ゆいまゝる倶楽部」の仕組みを詳しくご説明いたします。また、実際にご利用いただく「ゆいまゝる中沢」内も見学いただけます。今後の暮らし方を一緒に考えましょう。

関西

特別セミナー

知っておきたい任意後見制度

日時 4月19日(金)

午後1時30分から午後3時

講師 岡野秀章さん(岡野公認会計士事務所 公認会計士・

税理士)

会場 高齢者住宅情報センター(大阪・北阪急ビル7階)

定員20名/参加費3000円

▼判断能力のあるうちに自分で将来の後見人候補者を決めておくのが「任意後見人制度」です。わかっているようでわ

かりにくい点を少しでも理解するために、

ご参加されませんか？



岡野秀章さん

ゆいまゝる合葬墓説明会

日時 4月16日(火)

午後1時30分～午後2時まで

会場 高齢者住宅情報センター(大阪・北阪急ビル7階)

定員13名/参加費 無料

▼社団法人コミュニティネットワーク協会が運営・管理する合葬墓です。跡継ぎがいな

いから無縁仏になってしまう、子どもや親族に迷惑をかけた

くない、自分がお墓を守るの

は精神的・経済的に負担が大き

いなど、お墓のことでお悩みの

方、ぜひご参加ください。



ミニセミナー

相談事例から学ぶ高齢者住宅の選び方

日時 4月16日(火)

午後2時～3時30分

講師 田中由利子(高齢者住

宅情報センター大阪・相談室長)

会場 高齢者住宅情報センター(大阪・北阪急ビル7階)

定員13名/資料代 5000円

▼高齢者住宅に関する基礎知識とともに、すでに決断された方々が、どのように住み替え先を決められたか、相談事

例からご説明いたします。



田中由利子 相談室長

有料老人ホームはホントに安心？

日時 4月23日(火)

午後1時30分～午後3時まで

会場 高齢者住宅情報センター(大阪・北阪急ビル7階)

定員10名/参加費3000円

▼介護付有料老人ホーム「ザ・レジデンス神戸舞子」の支配

人、平山香織さんに有料老人

ホームの運営に長年携わる中

で、ホーム内の実情や看取り

の事例などを通じて自立から

介護までの実際をお話しいた

できます。

良いことも悪いことも、本

音のところを聞いてみません

か？

関東

皆さんの声を！

第11回高島平団地で暮らし続けるしくみをつくる会

日時 4月17日(水)
午後1時30分～3時30分
会場 高島平団地2・28街区6号棟大集会所

集合 直接会場にお越しください
定員40名/参加費 無料

★初参加の方向け説明会
午後0時30分～1時30分

集合 午後0時 都営三田線「高島平」駅東口改札

▼UR都市機構が検討している、高島平団地の空き室を「サービス付き高齢者向け住宅」に転換する公募への応募に向け、暮らしに必要なしくみ等

特別セミナー

「オランダに学ぶ

脱・病院死」

日時 4月20日(土)

午後1時30分～3時

講師 浅川澄一さん(福祉ジャーナリスト、前・日本経済新聞社編集委員)

会場 「ゆいまゝる中沢」4階ホール

を参加者と共に考える「つくる会」。第11回は、「暮らしに必要な情報やしくみPart2」(予定)を話しあいます。豊かな暮らしづくりと一緒に考えましょう。初めての方もぜひご参加ください。

URの団地再生のひとつ「ゆいまゝる多摩平の森」見学して参考にしてみませんか

日時 5月10日(金)

集合 午後0時 JR中央線「豊田」駅

(詳しい内容は、お申込みの際にお聞きください)

同じくUR都市機構の団地再生モデルとして、昨年1周年を迎えた「ゆいまゝる多摩平の森」。実際に改修したお部屋などを見学して、参考にしませんか？

参加費 昼食代 定員 15名

定員40名/参加費無料

▼日本人の病院での死亡率は80%近くですが、オランダは35%。亡くなる場所は病院と自宅のほかに施設(ケア付き集合住宅)があり、オランダではこの3つの死に場所がほぼ同比率。病院死が少ないのは、在宅医療や在宅介護がそ

…オススメの1冊…

『上野千鶴子が聞く

小笠原先生、ひとり家で死ぬますか?』

著者 上野千鶴子 / 小笠原文雄

「家で死ぬ…のは、そんなに贅沢な望みなのでしょうか?」上野千鶴子さんはそう問いかけます。本書はその答えを、「在宅ひとり死」の現場を支える実践者のお一人である小笠原文雄先生(日本在宅ホスピス協会会長)との対話の形で、私たちに示してくれています。

高齢者住宅情報センターに相談においでになる大半の方々には、「家で人生をまっとうしたい」と言われます。同時に「誰にも迷惑をかけたくない」とも。「死を受け入れるときに迷惑くらいかけてもいいのではないですか」と問うてみますが、なかなか結論に至りません。

お二人は、そうした疑問や不安に具体的な実践事例を挙げながら、明快にQ&Aで回答!

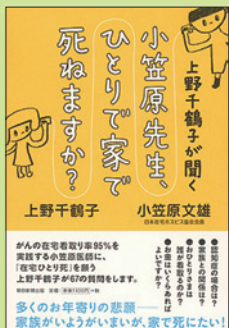
どうしたら「在宅ひとり死」は可能なか、どんな条件があればよいのか。「がんの場合は」「老衰の場合は」「ぼけたらどうするの」「家族との関係は」「お金はいくらあればよいの」……。本書は「在宅ひとり死」に不安と疑問をおもちの多くの皆様にとって、待望の書です。「上野先生、よくぞ聞いてくださいました」と申しあげたい。



浅川澄一さんです。

れだけ充実しているからだといえます。オランダの取り組みを通して、納得できる生き方・死に方を考えながら、地域でできることを考えてみたいと思います。

いと思いま



発行 朝日新聞出版
定価 1,470円(税込)

NEWS

■宝島社「田舎暮らしの本」の取材を受けました!

宝島社発行「田舎暮らしの本」4月号(3月2日発売)、「安心のサポート付き住宅で田舎暮らしを楽しむ」という特集で、当社団の近山理事長、高齢者住宅情報センターの佐々木室長が取材を受けました。高齢者住宅の種類や特徴などの基礎知識から、入居する上でポイント、選び方などについてのアドバイスをいたしました。

■創樹社「ハウジング・トリビューン」の取材を受けました!
創樹社発行「ハウジング・トリビューン」3月8日発行号に、「シェアする暮らし」という特集で、当社団の合葬墓の取り組みが紹介されています。高年齢者住宅情報センターの佐々木室長が、2012年11月1日に開眼した神戸市山田霊園での合葬墓の取り組みについて紹介しながら、合葬墓が求められている時代背景や暮らしの変化、価値観などについて語っています。



つながる・ひろがる

100年コミュニティ

社団法人 コミュニティネットワーク協会
高齢者住宅情報センター

0120-352-350

月曜～金曜 10時～17時(土・日・祝はお休み)

<http://kurashi-sumai.jp>

高齢者住宅情報センターでは、
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅(サ付き住宅)など
高齢者住宅への入居相談、介護相談など、
経験豊かな相談員が無料で相談をお受けしています。

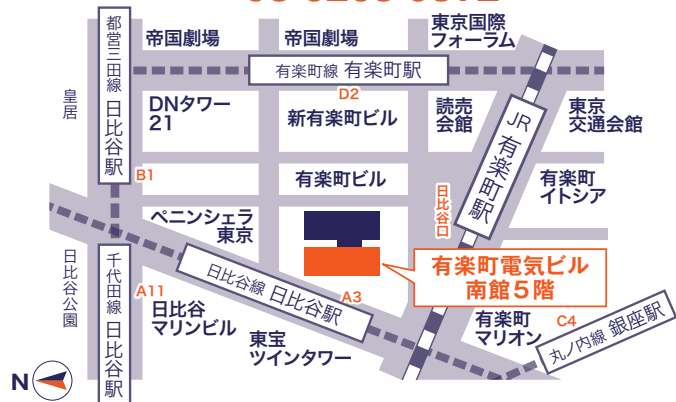
東京

〒100-0006

東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル南館 5階

電話 03-6265-0571

FAX 03-6265-0572



交通案内
東京メトロ日比谷線「日比谷駅」A3出口より直通。
東京メトロ千代田線「日比谷駅」A11出口より徒歩3分。
都営三田線「日比谷駅」B1出口より徒歩3分。
東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D2出口より徒歩3分。
東京メトロ丸ノ内線「銀座駅」C4出口より徒歩5分

大阪

〒530-0012

大阪市北区芝田 1-4-8 北阪急ビル 7階

電話 06-6375-8830

FAX 06-6375-8831



交通案内
阪急「阪急梅田駅」徒歩3分。
JR「大阪」駅徒歩5分。

つながる・ひろがる! 100年コミュニティ 2013 4月号 [年間購読料 3,000円(税込)]

発行 社団法人コミュニティネットワーク協会 高齢者住宅情報センター

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル南館5階 TEL 03-6256-0571 FAX 03-6256-0572

<http://www.conet.or.jp/> **コミュニティネットワーク協会** で検索。

発行人 近山恵子

編集協力 熊谷智美 高石洋子
デザイン m9デザイン
印刷 株式会社遊文舎